

特殊車両による物流について ～植物油のバルクローリー物流が抱える課題について～

一般社団法人日本植物油協会

令和6年度第1回FSPPP政策委員会(7月3日)において、表題の下、植物油のバルクローリー物流の現状や課題について、発荷主として物流事業者との対話から整理した情報を各業界団体様に紹介し、持続可能なバルクローリー物流の維持・強化に向けて、発荷主・着荷主間での対話をお願いした。発荷主と着荷主間での対話から(発荷主からの一方的要請ではなく)現状認識を進め、心を合せて改善に向け歩を進めていきたい。先々物流事業者との対話も行い3者による改善に進められればと考える。

なお、改善の検討及び推進には、物流事業者も入れた3者の認識が揃う事が必要と思われ、バルクローリー物流に関係する、物流・購買・生産の各部門からの参加者による、現状及び課題についての情報連絡・対話が行える様な場が必要と考える。

1. 植物油のバルク配送と物流会社の特徴

(1) 植物油バルク配送の特徴

- ①長距離配送 ②高度な品質管理、衛生管理 ③タンク内の油温管理 ④納期厳守

(2) 物流会社の特徴・傾向

- ①輸配送を担う物流会社は少ない ②特別装備の増車投資には慎重
③高齢の熟練ドライバーに依存 ④トラック事業へのシフト

2. バルクローリードライバーの役割

(1) 品質・衛生事故に関して

- ・作業ミス起因とした異物混入、油漏洩、納品タンク違い等のトラブルが重大事故に直結
- ・ローリーハッチやホース、ジョイント等の設備に関して、食品取扱物として厳しい衛生管理、清潔さを常に確保
- ・納品(タンクへの受入)作業をドライバーが一人で行うケースが大半、責任と精神面も含めた作業負担が大きい

(2) 納期厳守に関して

- ・顧客側の製造計画が、指定時間での納品を前提としているケースもあり、納期遅延は許されない
- ・メーカーの工場またはタンクSP基地から全国へ配送するため、長距離配送が多くドライバーの車中泊が常態化
- ・長距離配送や納期厳守により、納品先近隣での自主的な待機が発生

3. バルクローリードライバーの納品時のリスク、プレッシャーなど

(1) 高所作業に伴う労働災害のリスク

- ・納品に当たり、ドライバーはサンプル採取やハッチ開封、ハッチ切替等、タンク上部に乗り降りしての作業が必要
- ・納品先でのサンプル採取が必要な場合は、屋外時の雨水混入等にも注意しながら、不安定な体勢で行っている

- ・タンク上部は立った場合で約5 mの高さ目線となるが、納品先における高所作業の安全対策(ハーネス等)の不備は多い

(2) 納品時の環境面のリスク、プレッシャー

- ・納品先設備のタンクレベル計の動作不良や故障が放置されており、オーバーフローするリスク
- ・納品場所周辺が油等で汚れており、ドライバーが作業時に転倒するリスク
- ・納品場所までの道路が狭い、納品場所がフォークや車で輻輳、明かりが無く納品場所が暗い

4. 持続可能なバルクローリー物流を維持する上での主な課題

(1) 納品時の安全体制の確保（前述の通り）、納品以外の作業

- ・納品先でドライバーがサンプル採取する場合があります、高所作業となるため安全面での不安もある
- ・サンプル採取の時間や、納品先でのサンプル分析待ちなどで拘束時間が長くなることもある。

(2) 受発注面：オーダー変更、仮オーダー、キャンセル、ピンポイント時間指定、持ち戻り

- ・納品先の製造計画の変更により、既に配車済のオーダーの納期変更やキャンセルが発生
- ・納品先の操業スケジュールに合わせたピンポイントの時間指定（夜間含）
- ・納品先でのトラブル等の要因で全量納品できず持ち戻りが発生（持ち戻り品は廃棄せざるを得ない場合も）

(3) 配車・荷受面：小ロットオーダー、前荷に対する要請

- ・納品先受入タンク容量等の理由により、最大積載量に満たない小ロット(10 t 未満)での配送対応
- ・配車面の制約条件として、前荷に食品添加物が配合されていない事の確認を求められる場合あり

5. バルクローリー物流を支えるドライバー環境（まとめ）

植物油のバルク物流を担う物流会社とドライバーの責務、リスクやプレッシャーは大。バルクローリードライバーのなり手は特殊性から少なく、入社しても短期で退職する為、パッケージ品以上に高齢の熟練ドライバーに依存する状況にある。最近では、業務負荷やプレッシャーの低さから、トラックやダンプ、近距離中心の石油・ケミカルローリー等への物流会社の事業シフトや、ドライバーの転職が進んでいる。

⇒ **ドライバー不足の深刻さは、バルクローリー物流領域においても同様、もしくはそれ以上持続可能なバルクローリー物流維持への懸念がある**

6. 持続可能なバルクローリー物流の維持・強化に向けて

バルクローリー物流の生産性向上を念頭に、物流会社とも協議しながら、着荷主としてご協力頂きたい事項につき、別途整理予定。

植物油バルク品をこれからも運び続けて貰う為、ローリードライバーの作業環境改善に向けてB to B（発荷主着荷主）の双方で取り組んで参りたい。

以上